


シリーズ

名演探訪 ～日本の合唱

1 「枯れ木と太陽の歌」

早川 功

令和5年(2023) 2月28日

click  [Isao Hayakawa 集まれ合唱!](#)
facebook公開グループ「集まれ合唱！」
に連載したものをまとめました

久しぶりに私自身のフィールドである合唱の名演を探るシリーズを始めます。

西洋に於いては数百年に亘る教会音楽の歴史の上に合唱音楽は発展してきました。しかし日本では明治以降、西洋音楽を導入したものの所謂職業合唱団が誕生するまでには長い時間がかかり、その萌芽は太平洋戦争終結後まで待たなければなりませんでした。

今日言うところの「合唱曲」はいくつかの例外（例えば信時潔のカンタータなど）を除くと、ここ7～80年の間に生まれてきたものばかりです。私自身音楽活動の初期に触れた西洋の合唱曲、教会音楽の完成度に惹かれたこともあって、日本の合唱曲を同じ水平線で捉えられなかった時期がありました。使われる日本語の詩の表現に於いて日本の合唱曲は決してグローバルな作品にはなり得ないという事実は認識しなければならない。そして残された多くの作品の演奏の担い手が学生を主体としたアマチュアリズムに支えられてきたという事実もあります。しかしその中に於いても後世に残るであろう名曲とそこに全霊を懸けた名演奏・名録音は存在したと感ずるのでここに採り上げてみました。極めて個人的な思い入れでの選曲と演奏音源であることをお断りしておきます。

最初に採り上げるのは石井歓作曲の「枯れ木と太陽の歌」。1955年、ドイツ留学から帰国した石井歓が取り組んだ最初の合唱曲で、その第4曲「枯れ木は太陽に祈る」がその年の合唱コンクールの課題曲に選ばれ、全曲は翌56年に完成、初演されました。

ドイツでカール・オルフに師事した石井歓はオルフ流のオスティナート技法を用い鋭いリズムと力感に満ちた男声合唱曲に仕上げました。録音は1962年、森正指揮の東京コラリアーズと二期会男声による合唱、三浦洋一のピアノ、第2章最後のテノール独唱は中村健というもの。重要なのは伝説的男声合唱団である東京コラリアーズが歌っていることで、これはこの年に解消された同合唱団最後の録音なのです。

東京コラリアーズは1952年に藤原歌劇団の若手指揮者であった福永陽一郎（当時27歳）の声掛けによって誕生しました。コンサートを主体とした日本初のプロフェッショナルな男声合唱団で、そこに当時新たなオペラ集団「二期会」設立に関わっていた畑中良輔を引き込

み、後に指揮者として活躍する若杉弘や北村協一、加藤磐郎、伊藤栄一、さらには若手オペラ歌手だった立川澄人や平野忠彦などが団員として集められました。まだ慶応大学の学生であった後のダーク・ダックスの4人も参画していて、全国各地に合唱行脚を行い誰でも参加できる音楽としての合唱啓蒙運動に多大な貢献をした合唱団だったので。

しかしその10年余りの活動の間に他のプロ合唱団が誕生（東京混声など）したり、福永自身や畑中良輔などの中心メンバーの活動のフィールドが広がったこともあって、1962年に自然解消的に消滅したのです。後に東宝が「東京コラリアーズ」の名前を復活させたことがありましたが、それはミュージカルなどの舞台のためのもので、全く別の団体になっていました。

男声合唱組曲「枯れ木と太陽の歌」

作詩：中田浩一郎

作曲：石井歓

指揮：森正

独唱：中村健

ピアノ：三浦洋一

合唱：二期会男声合唱団

東京コラリアーズ



<https://www.youtube.com/watch?v=X9ilFkuCm4g>

指揮の森正は当時N響の指揮者の一人でもありましたが、二期会初期を支えたオペラの名人であり、伝説的なイタリア・オペラ来日公演の日本側責任指揮者として合唱指揮にも非凡な腕を奮っていました。堅実なテンポ感で、歌詞の明確な発音を重視しているように聴こえます。迫力のある合唱もさることながらピアノが素晴らしい。流石「日本のジェラルド・ムーア」と賞された名手・三浦洋一です。打鍵の確かさと弱音の響きの意味深さはこの作品のピアニストとして第一人者であり続けた三浦ならではのところでしょう。日本の男声合唱曲の一つのスタンダードを築いた名曲のこれは歴史的録音と言えるでしょう。

【シリーズ バックナンバー】

- ▶ 1 男声合唱組曲「枯れ木と太陽の歌」
- ▶ 2 男声合唱組曲「月光とピエロ」
- ▶ 3 男声合唱組曲「柳河風俗詩」
- ▶ 4 女声合唱組曲「美しい訣れの朝」
- ▶ 5 女声合唱のための唱歌メドレー「ふるさとの四季」
- ▶ 6 混声合唱組曲「嫁ぐ娘に」
- ▶ 7 混声合唱、ヴィブラフォン、ピアノのための「動物の受難」
- ▶ 8 混声合唱組曲「島よ」
- ▶ 9 男声合唱組曲「水のいのち」
- ▶ 10 男声合唱のためのカンタータ「土の歌」

Back

音楽・合唱TOPへ

Home

HOME PAGEへ